



藤田観光株式会社
2023年12月期
決算説明資料

2024年2月14日
藤田観光株式会社
(証券コード：9722)

損益計算書



FUJITA KANKO

2023年12月期 決算説明資料

全事業で営業黒字、営業利益前年比106億円増益、2019年比63億円増益

コロナ禍に推進した構造改革の成果もあり、当期純利益は2021年に次ぐ過去最高水準

▶インバウンド需要を捉えWHG事業を中心にADRが上昇

▶ラグジュアリー&バンケット事業では2019年（「太閤園」営業終了前）比で50億円減収も13億円増益

▶「箱根ホテル小涌園」を開業したリゾート事業においては3Qで営業黒字化、通期で営業利益1.6億円

(百万円)		3Q累計実績 1～9月	4Q実績 10～12月	2023年 実績	2022年 実績	前年比	<参考> 2019年 実績	2019年比
売上高		45,556	18,990	64,547	43,749	+20,797	68,960	▲4,412
	WHG事業	25,923	10,439	36,363	20,587	+15,776	37,629	▲1,266
	ラグジュアリー&バンケット事業	12,265	5,612	17,878	15,191	+2,686	22,949	▲5,071
	リゾート事業	5,995	2,462	8,458	5,638	+2,819	5,790	+2,667
	その他（調整額含む）	1,372	475	1,847	2,331	▲483	2,590	▲742
営業損益		3,715	2,921	6,636	▲4,048	+10,685	280	+6,356
	WHG事業	3,466	1,962	5,428	▲3,218	+8,646	2,254	+3,174
	ラグジュアリー&バンケット事業	419	834	1,253	▲23	+1,277	▲84	+1,338
	リゾート事業	76	92	169	▲439	+609	▲939	+1,108
	その他（調整額含む）	▲246	31	▲215	▲366	+151	▲950	+735
経常損益		4,325	2,755	7,081	▲4,461	+11,542	401	+6,680
	特別利益	628	47	675	1,092	▲417	285	+390
	特別損失	294	777	1,071	2,994	▲1,922	1,207	▲390
	税金費用等	29	▲1,458	▲1,429	▲572	▲856	▲236	▲1,193
親会社株主に帰属する当期純損益		4,630	3,483	8,114	▲5,789	+13,904	▲285	+8,399

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2019年度のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績

損益計算書 (売上・営業利益推移)

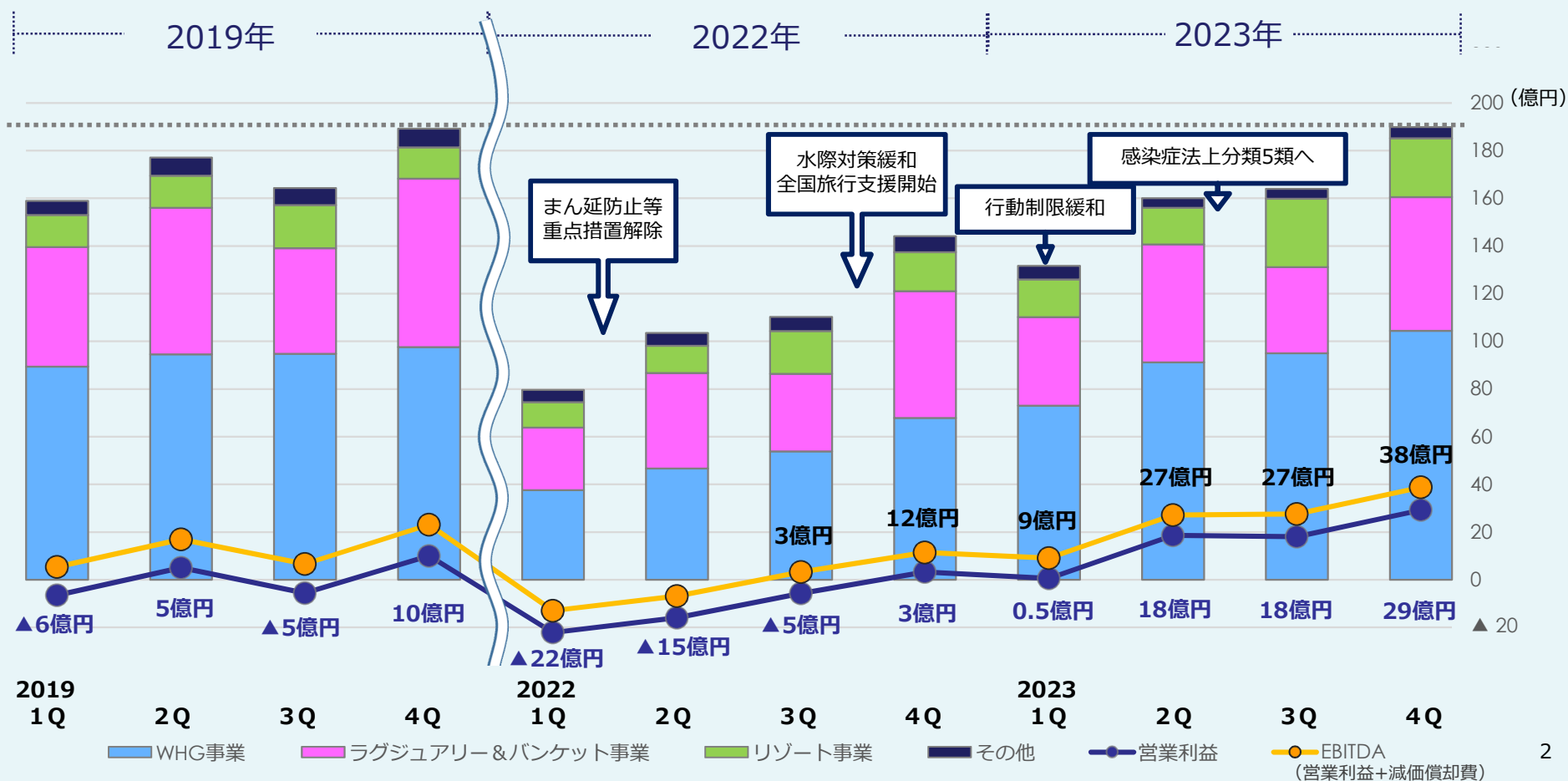


2023年12月期 決算説明資料

- ▶ 3Q (7~9月) に続き、4Q (10~12月) の売上高も2019年並みとなる
- ▶ WHG事業は2019年4Q並み、リゾート事業は「箱根ホテル小涌園」開業により2019年4Qを大きく上回る

四半期別売上高 2019年同期比	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q
WHG	82%	97%	100%	107%
ラグジュアリー&バンケット	74%	79%	81%	78%
リゾート	118%	115%	160%	188%

売上高・営業利益推移



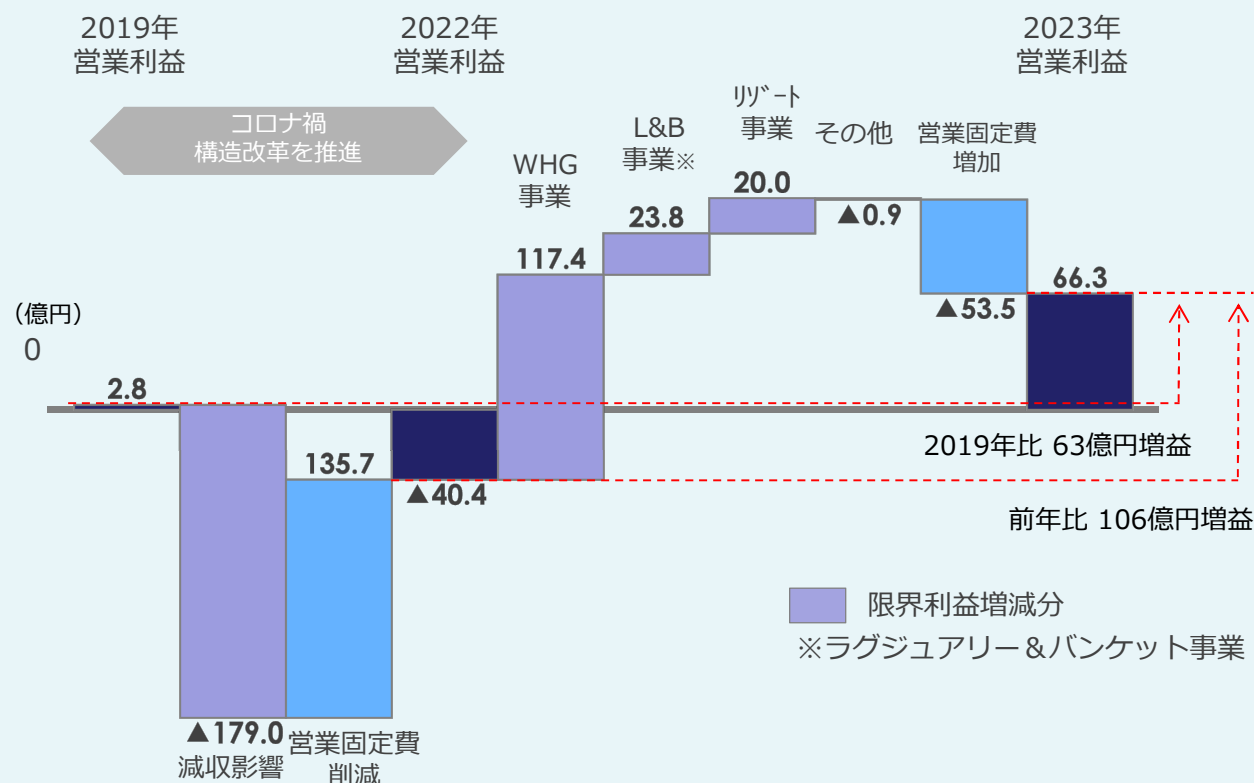
損益計算書（営業利益増減要因）



2023年12月期 決算説明資料

- ▶各事業の売上回復を受け、前年比106億円増益
- ▶2019年比では構造改革により営業固定費を82億円削減、2019年比63億円増益

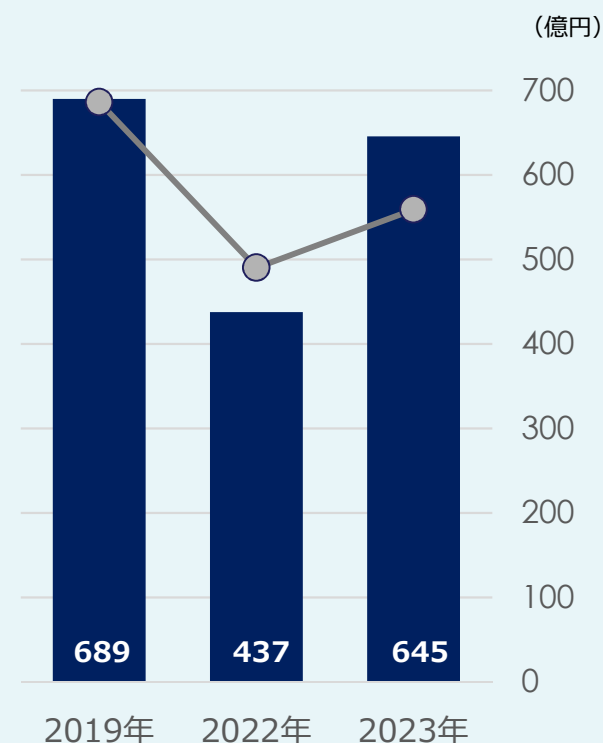
営業利益 増減要因



<2023年営業固定費主な増減>

2019年比	▲82.2億円	前年比	+53.5億円
労務費	▲50.6億円	労務費	+28.7億円
減価償却費	▲12.9億円	地代家賃	+12.5億円
租税公課	▲6.2億円	水道光熱費	+4.0億円
広告宣伝費	▲2.8億円		

損益分岐点売上高の推移



■ 売上高
● 損益分岐点売上高

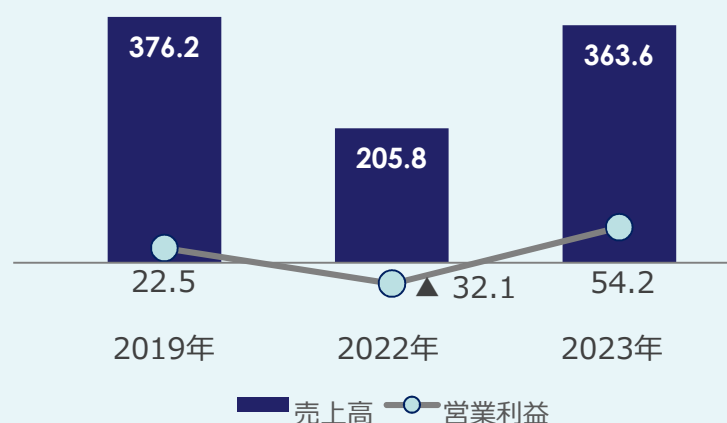
WHG事業 概況



2023年12月期 決算説明資料

東京・大阪を中心にインバウンド宿泊者数が増加、ADRが上昇
前年比157億円増収、86億円増益、2019年比12億円減収、31億円増益

売上高・営業利益推移 (億円)



<前年比>

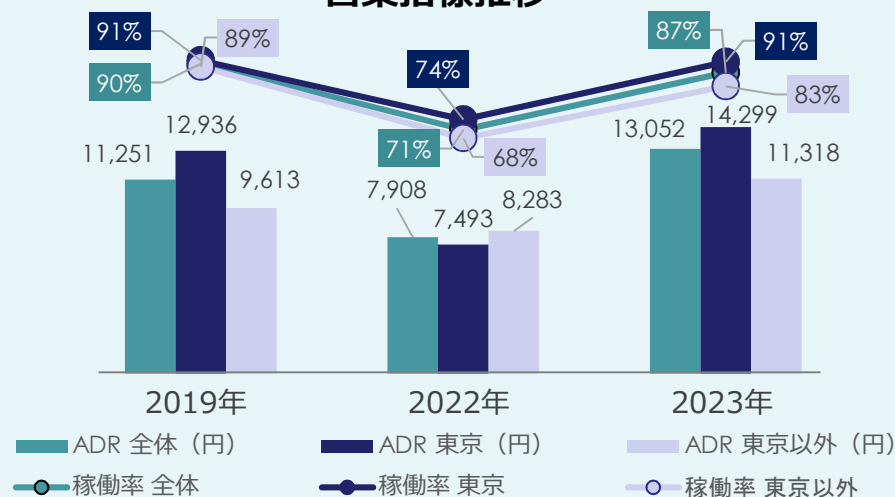
- 新宿WH・HG新宿が牽引し、増収の内46%を占める

※HG新宿は2023年2月まで行政へ提供しており、翌3月より通常営業を再開

<2019年比>

- 稼働率は下回るものの、ADRはWHG全体で1,801円上昇、RevPAR（稼働率×ADR）も上回る
- 4Q（10～12月）においては同期比でADRが3,331円上昇

営業指標推移



2019年→2023年

営業終了・営業形態変更影響 売上高▲50.8億円
 （横浜伊勢佐木町WH、関西エアポートWH 他）

新規開業影響 売上高+28.9億円

（HG台北・大阪なんば、ホテルタビノス浜松町・浅草・京都）

WH : ワシントンホテル
 HG : ホテルグレイスリー

ラグジュアリー&バンケット事業 概況

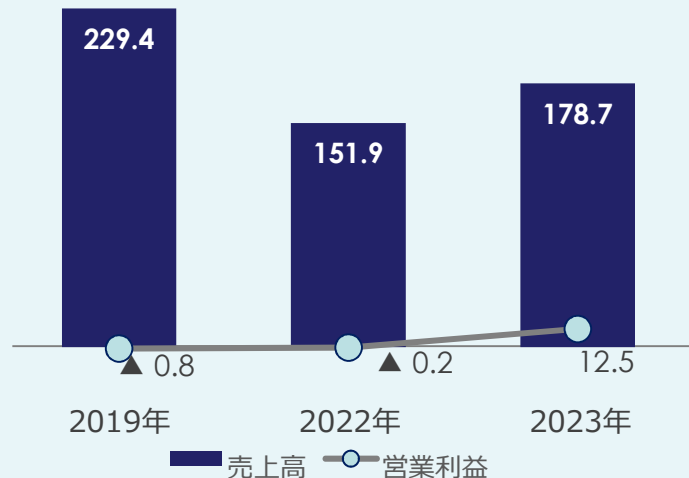


2023年12月期 決算説明資料

「ホテル椿山荘東京」においては全部門で前年比増収、宿泊部門では2019年を上回る事業全体では前年比26億円増収、12億円増益、2019年比50億円減収、13億円増益

売上高・営業利益推移

(億円)

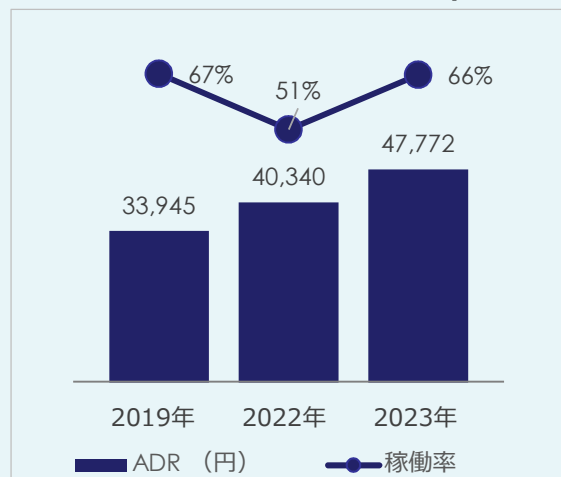


【ホテル椿山荘東京】

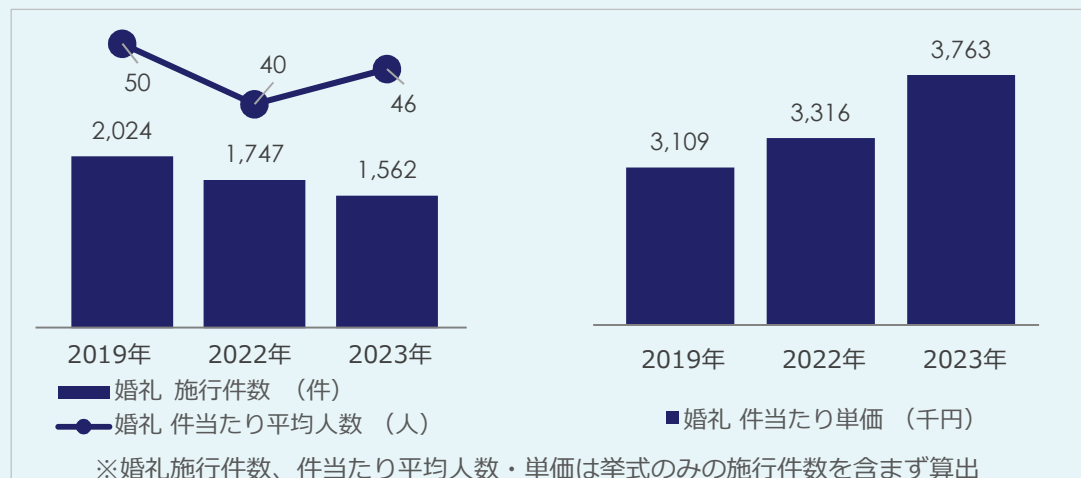
- 宿泊部門：高単価販売に加え、スイートルームの稼働が増えADRが上昇
- 婚礼部門：2019年比で件当たり単価は上昇も人員、施行件数は減少が続く

2019年→2023年
営業終了影響 売上高▲46.2億円
(太閤園、Share Clapping Fukuoka 他)

「ホテル椿山荘東京 宿泊部門」



「ホテル椿山荘東京 婚礼部門」



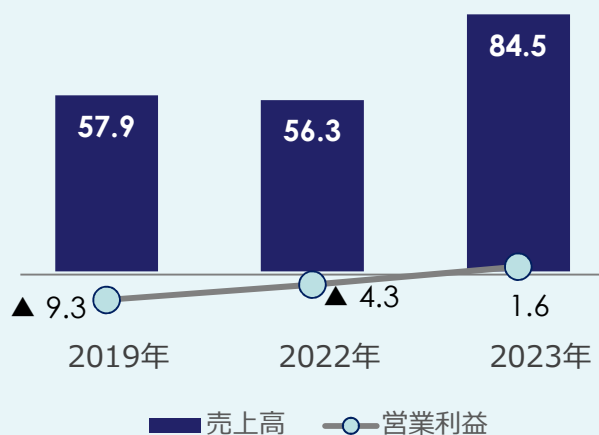
リゾート事業 概況



2023年12月期 決算説明資料

**「箱根小涌園 天悠」「箱根ホテル小涌園」の好調を受け、
前年比28億円増収、6億円増益、2019年比26億円増収、11億円増益**

売上高・営業利益推移 (億円)



【箱根小涌園 天悠】

- ADR、稼働率ともに前年比2019年比上昇

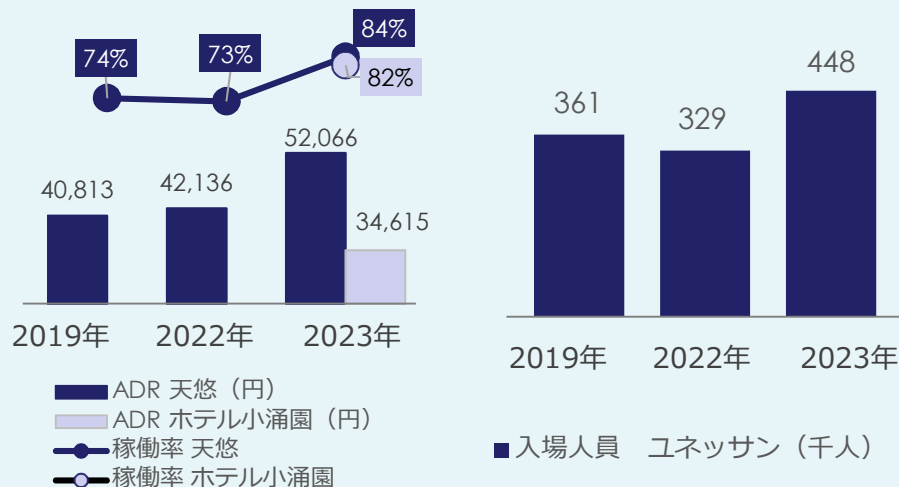
【箱根ホテル小涌園】

- 2023年7月12日開業
- 開業直後から主要ターゲットであるファミリー層の需要を取り込み、順調な滑り出し

【箱根小涌園ユネッサン】

- 箱根ホテル小涌園宿泊者利用や、流れるプール新設等の効果により、入場人員が前年2019年ともに上回る

営業指標推移



2019年→2023年
新規開業・営業終了影響
売上高+14.2億円
(箱根ホテル小涌園、三河屋旅館 他)

部門別売上高



2023年12月期 決算説明資料

部門別売上高（1～12月）

(百万円)	部門	売上高実績	前年比	前年比 (%)	2019年比	2019年比 (%)
W H G	宿 泊	33,037	+14,568	+79%	+1,504	+5%
	そ の 他	3,325	+1,207	+57%	▲2,770	▲45%
ラグジュアリー & バンケット	宿 泊	3,075	+1,022	+50%	+795	+35%
	婚 礼	7,127	+127	+2%	▲3,193	▲31%
	宴 会	2,804	+1,104	+65%	▲2,100	▲43%
	料 飲	3,157	+396	+14%	▲807	▲20%
	そ の 他	1,714	+35	+2%	+232	+16%
リゾ ー ト	宿 泊	6,543	+2,353	+56%	+2,841	+77%
	日 帰 り ・ レ ジ ャ ー	1,560	+284	+22%	+85	+6%
	そ の 他	353	+181	+105%	▲259	▲42%
参 考 宿 泊 部 門 合 計		42,656	+17,944	+73%	+5,141	+14%

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2019年度のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績
 ※ その他：セグメント間の内部売上を含む

宿泊部門 営業指標



2023年12月期 決算説明資料

		2019年				2022年				2023年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
WHG 全体	稼働率	88%	90%	90%	91%	50%	71%	74%	85%	84%	88%	88%	90%
	ADR	11,205	11,555	11,122	11,142	6,417	6,688	7,906	9,509	10,821	13,083	13,487	14,473
WHG 東京	稼働率	89%	90%	91%	94%	49%	76%	74%	89%	89%	91%	90%	92%
	ADR	13,169	13,427	12,390	12,803	6,091	5,955	7,125	9,379	11,567	14,428	14,612	16,096
WHG 東京 以外	稼働率	87%	90%	90%	89%	50%	66%	74%	81%	78%	83%	85%	87%
	ADR	9,285	9,782	9,917	9,460	6,669	7,366	8,528	9,646	9,853	11,123	11,909	12,213
ホテル 椿山荘 東京	稼働率	63%	72%	57%	74%	34%	45%	46%	78%	65%	72%	58%	70%
	ADR	33,260	33,700	33,347	35,211	40,243	39,594	40,724	40,581	42,660	45,527	50,335	52,535
箱根 小涌園 天悠	稼働率	72%	72%	75%	76%	64%	59%	77%	91%	83%	79%	85%	91%
	ADR	40,634	40,632	41,500	40,471	40,326	40,439	43,655	43,182	48,575	50,630	53,090	55,456
箱根 ホテル 小涌園	稼働率											88%	77%
	ADR											36,221	32,918

2023年7月12日開業

※ ADR : (円)

【ホテル椿山荘東京】 婚礼部門

	2019年				2022年				2023年			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
施行 件数	372	576	384	692	313	498	340	596	271	436	289	566
件当 たり 単価	3,273	3,187	2,910	3,065	2,969	3,264	3,387	3,501	3,675	3,948	3,679	3,706
件当 たり 平均 人数	54	52	49	48	32	39	41	43	44	49	45	45

※ 件当たり単価：（千円）

※ 婚礼施行件数、件当たり単価・平均人数は挙式のための施行件数を含まず算出

【箱根小涌園ユネッサン】

（千人）

	2019年				2022年				2023年			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
入場 人員	77	70	158	54	50	61	145	73	75	70	208	94

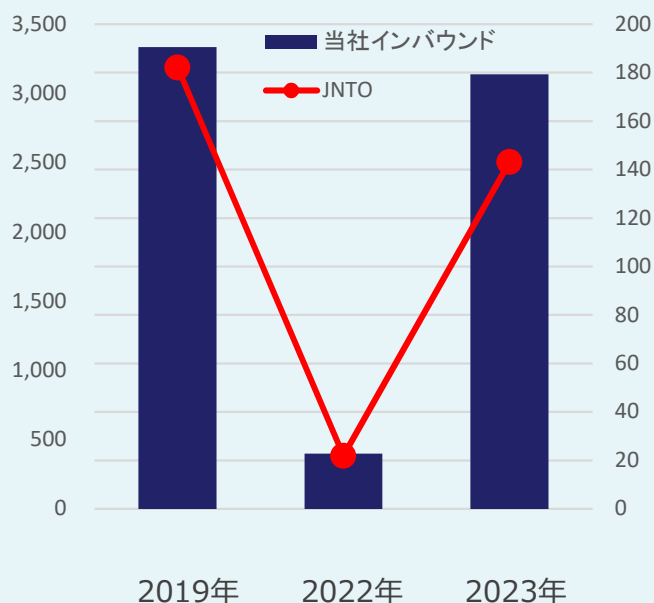
インバウンドの状況

- ▶インバウンド比率は45.8%
(2019年比+1.0%pt)
- ▶国別シェアでは韓国(22%)が最多
次いで中国(21%)

当社インバウンド宿泊者数

(JNTO : 万人)

(当社 : 万人)

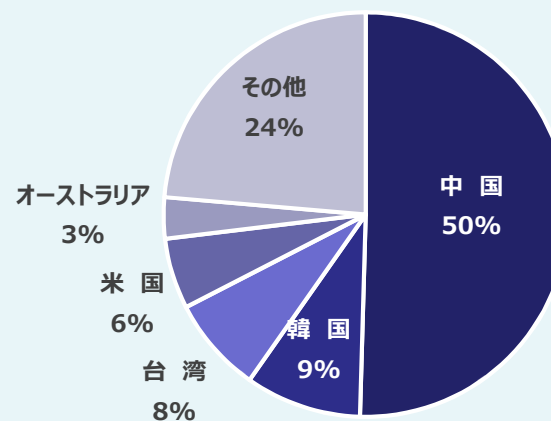


	2023年	2019年比
当社インバウンド 宿泊者数	179万人	▲5.8%
当社総宿泊者数	391万人	▲7.9%
インバウンド比率	45.8%	+1.0%pt
JNTO	2,506万人	▲21.4%

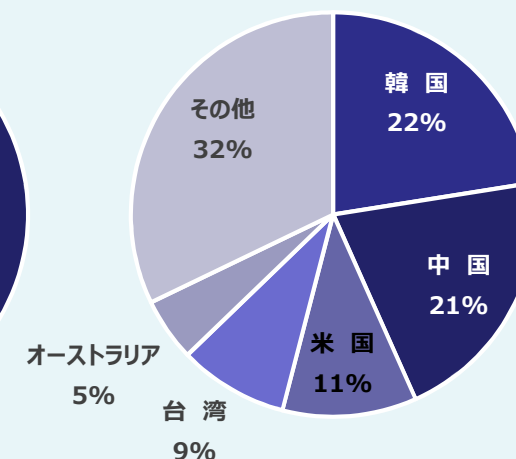
※JNTO (日本政府観光局) 2024年1月17日発表 訪日外客数より

当社インバウンド宿泊者数 国別シェア

2019年1～12月



2023年1～12月



※中国の数値に香港からの宿泊者数を含む

貸借対照表

- ▶ 純資産は前期末比32億円増加の259億円
- ▶ 2023年12月22日にA種優先株式150株のうち50株を償還（取得及び消却）

	当期末	2022年末	増減
純資産	259億円	227億円	+32億円
自己資本比率	27.8%	22.6%	+5.1%pt

(百万円)		2023年12月	2022年12月	増減	主な増減要因
流動資産合計		21,293	30,947	▲9,654	現預金の減少
固定資産合計		72,202	69,015	+3,187	箱根小涌園再開発に伴う資産取得による増加
資産合計		93,496	99,962	▲6,466	
流動負債合計		30,365	27,321	+3,043	
固定負債合計		37,156	49,901	▲12,745	借入金返済等による減少
負債合計		67,521	77,222	▲9,701	
純資産合計		25,974	22,740	+3,234	A種優先株式償還等による資本剰余金の減少 当期純利益の計上による利益剰余金の増加
負債純資産合計		93,496	99,962	▲6,466	

キャッシュ・フロー計算書



2023年12月期 決算説明資料

- ▶ 全事業で営業黒字、営業キャッシュ・フローは111億円のキャッシュイン
- ▶ 「箱根ホテル小涌園」建設代金支払い等で投資キャッシュ・フローは59億円のキャッシュアウト
- ▶ 借入金返済およびA種優先株式償還等により、財務キャッシュ・フローは156億円のキャッシュアウト

(百万円)

	2023年	2022年	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	11,109	645	+10,463
投資活動による キャッシュ・フロー	▲5,919	▲6,122	+202
フリーキャッシュ・フロー	5,189	▲5,476	+10,666
財務活動による キャッシュ・フロー	▲15,667	▲8,935	▲6,732
現金および現金同等物の期末残高	13,675	24,110	▲10,434

2024年12月期 業績予想



2023年12月期 決算説明資料

- ▶ 通期では、前年比41億円増収、6億円減益の計画
- ▶ WHG事業を中心にADRの上昇を見込む
- ▶ 人件費等の費用増加、コロナ禍に抑制していた投資の再開を織り込む

(百万円)

	第2四半期			通期		
	2024年 2Q累計	2023年 2Q累計実績	前年同期比	2024年 通期	2023年 通期実績	前年比
売上高	32,700	29,162	+3,537	68,700	64,547	+4,152
WHG事業	19,000	16,576	+2,423	39,500	36,698	+2,801
ラグジュアリー&バンケット事業	8,800	8,660	+139	18,100	17,878	+221
リゾート事業	4,400	3,120	+1,279	10,000	8,458	+1,541
その他（調整額含む）	500	805	▲305	1,100	1,512	▲412
営業損益	2,000	1,912	+87	6,000	6,636	▲636
WHG事業	2,000	1,895	+104	4,800	5,446	▲646
ラグジュアリー&バンケット事業	300	646	▲346	800	1,253	▲453
リゾート事業	▲200	▲400	+200	500	169	+330
その他（調整額含む）	▲100	▲228	+128	▲100	▲232	+132
経常利益	2,000	2,504	▲504	5,800	7,081	▲1,281
当期純利益	1,500	3,073	▲1,573	5,300	8,114	▲2,814

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2023年度のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績

2024年12月期 業績予想の前提（営業指標）



2023年12月期 決算説明資料

				2024年 2 Q累計	前年同期比	2024年 通期	前年比
W 全	H	G 体	稼働率	87%	+1%pt	89%	+2%pt
			ADR	13,400円	+11.4%	13,700円	+5.0%
W 東	H	G 京	稼働率	89%	▲1%pt	90%	▲1%pt
			ADR	14,900円	+13.5%	15,100円	+5.6%
W 東	H 京	G 以 外	稼働率	84%	+3%pt	87%	+4%pt
			ADR	11,200円	+6.6%	11,800円	+4.3%
ホ 椿	テ 山	ル 荘 東京	稼働率	64%	▲4%pt	63%	▲3%pt
			ADR	46,300円	+4.8%	48,500円	+1.5%
箱 根 天	小 涌	園 悠	稼働率	79%	▲2%pt	82%	▲2%pt
			ADR	49,900円	+0.6%	50,800円	▲2.4%
箱 小	根 涌	ホ テ ル 園	稼働率	80%	—	83%	+1%pt
			ADR	32,600円	—	34,900円	+0.8%
ホ 椿	テ 山	ル 荘 東京	婚 礼 施 行 件 数	710件	+0.4%	1,550件	▲0.8%
			婚礼件当たり単価	3,852千円	+0.2%	3,810千円	+1.2%
			婚礼件当たり平均人数	47人	+0.2%	46人	+0.8%
箱 根 小 涌 園 ユネッサン			入 場 人 員	211千人	+45.5%	564千人	+25.9%

配当（普通株式）



FUJITA KANKO

中期経営計画2028

配当方針

当社は、剰余金の配当にあたっては株主の皆さまへの還元を十分に配慮し、今後の企業体質の一層の強化と事業展開に活用する内部留保の蓄積を勘案のうえ、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。

配当の状況

年度	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期 (予定)	2024年 12月期 (予想)
1株あたり 配当金 (年間)	40円	30円	0円	0円	0円	0円	30円

施設一覧 (2024年2月14日現在)



2023年12月期 決算説明資料

WHG事業				リゾート事業		ラグジュアリー＆バンケット事業	
《宿泊》 37拠点 11,041室				《宿泊》12拠点 565室		《宿泊》 1拠点 267室	
■ワシントンホテル (21拠点 6,619室)		■ホテルグレイスリー (11拠点 3,198室)		箱根ホテル小涌園	150室	ホテル椿山荘東京	266室
仙台	223室	札幌	440室	箱根小涌園 天悠	150室	《婚礼・宴会》 3拠点	
新宿（本館）	1,280室	銀座	270室	箱根小涌園 三河屋旅館	25室	マリーエイド（広島県）	
秋葉原	369室	田町	216室	箱根小涌園 美山楓林	15室	ルメルシェ元宇品（広島県）	
東京ベイ有明	830室	浅草	125室	伊東小涌園	50室	ザ サウスハーバーリゾート（広島県）	
横浜桜木町	553室	新宿	970室	伊東 緑涌	7室	《レジャー》 1拠点	
浦和	140室	京都三条（北館）	97室	藤乃煌 富士御殿場	24室	カメリアヒルズカントリークラブ（千葉県）	
広島	266室	京都三条（南館）	128室	永平寺 親禅の宿 柏樹閣	18室	《レストラン》 2拠点	
キャナルシティ・福岡	423室	大阪なんば	170室	湯河原温泉ちとせ【MC】	38室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
山形七日町【FC】	213室	那覇	198室	ホテルやまなみ【MC】（山梨県）	26室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】	
山形駅西口【FC】	100室	ソウル	336室	十和田ホテル【業務提携】	50室	FC：フランチャイズ方式 所有と経営・運営ともにオーナー企業に帰属し、 当社はブランド使用权の貸与と運営を指導 MC：マネジメントコントラクト方式 所有と経営はオーナー企業に帰属し、当社は運営 を受託	
会津若松【FC】	154室	台北	248室	《レストラン》 3拠点			
郡山【FC】	184室			レストランあかしあ亭（秋田県）			
いわき【FC】	148室	■ホテルフジタ（1拠点 354室）		箱根小涌園 蕎麦 貴賓館			
立川【FC】	170室	福井【FC】	354室	箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館			
木更津【FC】	146室			《レジャー》 5拠点			
燕三条【FC】	103室	■ホテルタビノス(3拠点 656室)		箱根小涌園ユネッサン			
関西エアポート【FC】	504室	浜松町	188室	箱根小涌園 元湯 森の湯			
関空泉大津【FC】	151室	浅草	278室	箱根小涌園キャンプ＆スパ 山の音			
宝塚【FC】	135室	京都	190室	Fuji Camp Base煌（藤乃煌 富士御殿場 敷地内）			
佐世保【FC】	190室			下田海中水族館			
新宿（新館）【MC】	337室	■サービス・アパートメント					
		ISORAS CIKARANG イソラス チカラン（インドネシア）	214室				

16

会社概要



2023年12月期 決算説明資料

上場取引所	東京証券取引所プライム市場		
社名	藤田観光株式会社		
証券コード	9722		
単元株式数	普通株式 100株		
	A種優先株式 1株		
事業年度	毎年1月1日～12月31日		
基準日	12月31日		
配当金支払株主確定日（普通株式）	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日		
定時株主総会	毎年3月		
発行済株式の総数	普通株式 12,207,424株	計	12,207,524株
	A種優先株式 100株		
発行可能株式総数	普通株式 44,000,000株	計	44,000,150株
	A種優先株式 150株		
決算期	毎年12月31日		

IR担当部門 （お問合せ先）
藤田観光株式会社 企画本部 経営企画部

TEL : 03-5981-7722

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
また、注記を行っている場合を除き、2023年12月31日現在のデータに基づいて作成しております。
尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。
当資料の転載はご遠慮ください。